全国学力・学習状況調査問題を活用して指導の改善・充実を！　【中学校　国語】

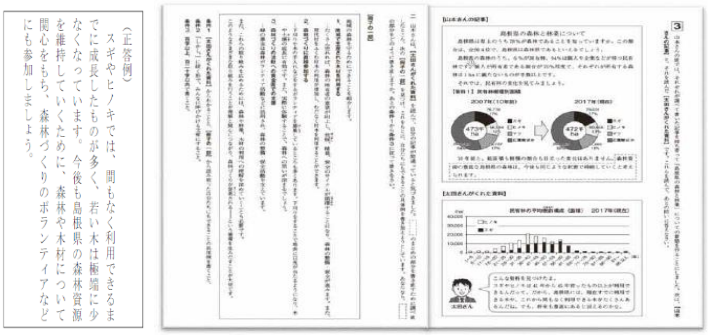
全国学力・学習状況調査問題を活用して指導の改善・充実を図るうえでのポイントを，「調査問題活用の参考資料」（国立教育政策研究所刊）等を基にまとめました。本県・自校の児童生徒の強みと課題を把握し，付けたい力を明確にした授業を展開しましょう。

令和２年11月
島根県教育センター

平成31年度(令和元年度)島根県学力調査における本県の課題

取り出した情報を根拠に自分が伝えたいことを書くことに課題がある。

〔中2・3二　正答率19.8%　無回答率13.2%〕



今後の指導改善で必要なポイント

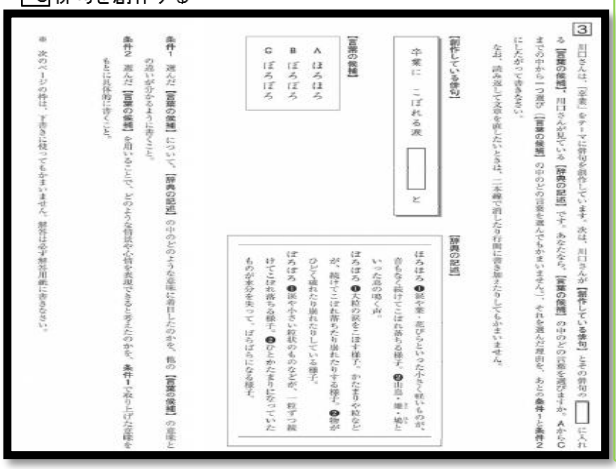
□読み手を意識し、根拠を明確にして自分の考えをわかりやすく伝える文章を書く活動を取り入れましょう。

□根拠をもとにして自分の解釈を説明したり、互いの解釈を交流したりして、「考えの形成」 を図りましょう。

令和2年度全国学力・学習状況調査問題の参考資料より

【出題の趣旨】 自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書くこと

3 俳句を創作する



調査問題の活用に当たって

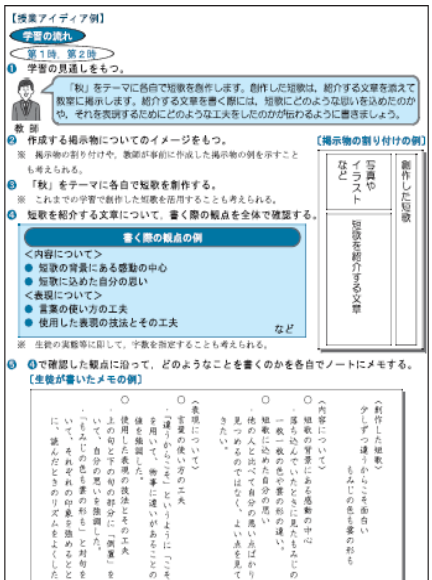
■学習指導要領における領域・内容
〔第2学年〕B書くこと　ウ　事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。

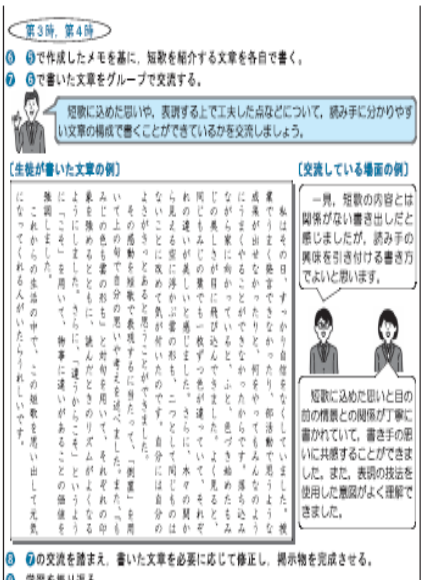
■学習指導要領に示されている言語活動との関連
〔第2学年〕B書くこと　ア　表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。
〔第2学年〕B書くこと　イ　多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。

■言語活動を通した学習の工夫について
多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く言語活動を通して指導する際には、どのような事柄についてどのような意見をもち、どのような論の展開で記述するかを考え、論点について賛成か反対かなど自分の立場を決め、自分の考えの中心や主張を明確にして書くように指導することが大切です。

授業アイディア例

【指導のねらい】自分の考えが読み手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えるとともに、論理の展開を工夫して書くことができるようにする。





【活用のポイント】
〇第3学年「B　書くこと」（1）イを指導することを想定した学習です。
〇メモを書くことで、伝えたいことを明確にさせましょう。
〇分かりやすい説明や具体例を加えて書くように指導するとよいでしょう。
〇読み手を意識するためにもグループで交流させるとよいでしょう。

さらなる指導の充実のために

□自分の考えの根拠として用いる情報を精査し、自分の考えとどのような関係があるのか分かるように構成を工夫し、論理的に記述する学習をしましょう。
□書き上げた文章の推敲に加え、文章構成や表現の仕方など、評価の観点をもって互いに交流し、読み手の助言を参考に自分の文章を客観的に捉え、よりよいものに改善していく学習をしましょう。